

■■■化学療法投与計画書《5-FU+I-LV療法》■■■

実施日	
-----	--

患者番号	性別	身長	cm	
カナ氏名	生年月日	体重	kg	指示医
患者氏名	年齢	体表面積	m <sup>2</sup>	

Rp)フルオロウラシル(5-FU) 600 mg/m<sup>2</sup> 静注  
 レボホリナート(アイソボリン) 250 mg/m<sup>2</sup> 点静注 day1,8,15,22,29,36 8週毎(6週投与2週休薬)

本管①	Day29
生理食塩液100mL	1 瓶

レジメンコメント1
レジメンコメント2

側管①	120分	大塚糖液5% 250mL 1 袋
		レボホリナートカルシウム mg
		アイソボリン点滴静注用100mg:
		アイソボリン点滴静注用25mg:

側管②	レボホリナート開始45分後15分かけて	15分	パロノセトロン点滴静注 1 袋
			バッグ0.75mg 50mL
			デカドロン注射液1.65mg 0.5mL 4 管

側管③	レボホリナート開始60分後3分かけて	3分	フルオロウラシル mg
			5-FU注1000mg:
			5-FU注250協和 250mg:

Day36へ続く

<実施時の注意>

漏出時:直ちに投与を中止し、薬剤を吸引、洗浄し、ステロイドの局注、ステロイドの外用剤で対処する。  
 TS-1投与中もしくは投与中止後7日以内→投与不可

<注意すべき副作用>

- 食欲不振、吐き気 ●口内炎 ●色素沈着 ●脱毛(頭髪、まつ毛、眉毛など) ●白血球減少 ●赤血球減少(貧血)
- 血小板減少